

見返りを求めないボランティアが 世の中を変える

NPO法人地球環境・共生ネットワーク(通称U-net)は
1998年1月19日に発足しました。
比嘉教授とともに、設立にかかわり、
育ててこられた浜淵隆男委員長にインタビューを行い、
U-netの成り立ちと、大きな輪へと拡大を
続ける「善循環の輪」、そして今後の展望などについて、
語っていただきました。

NPO法人地球環境・共生ネットワーク委員長 浜淵隆男さん
EMで浄化活動をしている牛込澤にあるカナルカフェにて。

U-netができるまで

1997年に比嘉教授が地球環境財
団の理事を辞任されることになり、当時、
すでにEMのファンが多く、新しいEMの
ファンの受け皿としての組織を作るために
U-netの素案ができました。
すでに財団当時から、ボランティアの推
進委員を作るということで、6〜7名の
候補者があり、比嘉教授と一緒に、新しい
組織に参加してくれました。発足時のメ
ンバーは現役を引退して、残りの人生を、
EMを活用して少しでも環境を良くした
いという人達と、子育てが終わり、環境に
関心の高い主婦の方が集まってくれまし
た。

組織を「地球環境・共生ネットワー
ク(通称U-net)」と名付け、NPO法人
の認可を2000年に東京都から、
2001年には内閣府から受けました。
理念は比嘉教授を会長に、純粋な見返
りを求めないEMのボランティアの全国
組織として発足しました。

比嘉教授との出会いは、船井幸雄氏の
講演会で、比嘉教授の講演を聞いたこと
にさかのぼります。船井幸雄氏は経営コン
サルタントとして、新しい形態の量販店を
指導しており、私が商社に勤めていた頃、
船井氏に指導を仰いでいました。

まだスーパーマーケットが日本にほと
んどなかった昭和38年頃、スーパーマ
ケット事業の担当となり、世田谷に第一
号店を出店しました。日本に冷蔵ケース
はなく、冷蔵ケースなどの設備もすべて
アメリカから輸入しての開業でした。当
時は肉や魚も対面販売でしたから、今
では当たり前の切り身のパック詰めの陳
列は、当時は常識はずれと、鮮魚組合連
合会が大挙して押しかけ、売り方にク
レームをつけてきました。その時に感じ
たのは、この販売の時代が必ず来るとい
う確信でした。当初は赤字で苦勞しな
がらも、業績は上昇し、30店舗まで展開
しました。その後、赤字を抱えていた上
場企業の再建に向い、赤字を黒字に転
換し、役員として退職しました。その時
に浦安市で開催された船井氏の講演の
時に、比嘉教授の講演を初めて聞いて、
面白いと思い、比嘉教授にすぐに手紙を
出しました。その後、比嘉教授から自宅
に電話をいただき、お会いしたところ、
ボランティアの組織を作りたいので、組
織づくりをお願いしたいと言われたのが
1993年頃でした。

比嘉教授との出会いから、早くも20年
が過ぎようとしています。U-netを設

を乗り越えていきましょう。成功の秘訣
は、成功するまで、あきらめないことです。

U-netの組織づくり

U-netは組織づくりの第1段階と
して、全国各地の熱心な善意の方を集め
て、地域の組織づくりに着手しました。
本部の機能としては、自主的に参加して
いる人がやりやすいように、EM研究機
構の協力を得ながら、EMに関する情報
提供を心がけました。一番大切なことは
比嘉教授を信じて、EMを理解している
人が集まっていることが母体でなければ
ならないことです。会員は2003
2004年には100名以下でした。

第2段階として、2005年からは
U-netを大きく育てるために、地域の
環境をよくしようという人をまとめるべ
きだと判断し、横のつながりを強めて、情
報交換と互いに助け合う輪を作ろうと考
えました。その輪を「善循環の輪」と名付
け、第1回善循環の輪の集いを2005
年7月に新潟で開催したところ、満員御
礼でした。今では全国に約1300団体、
推定26万人の大きな輪となっています。
2012年6月の愛知の集いで、52回の
開催を数えました。



2012年6月23日に愛知県武豊町で開催された第52回善循環の輪 愛知の集いinたけとよ
にて主催者あいさつをする浜淵委員長



U-net事務局でメンバーとともに

今後の目標

これからの目標は、全国を比嘉教授
とともに行脚して、50万人の善循環の
輪を目指し、EMを暮らしの中に定着
させ、EMを空気や水の如く使う人々
の輪を拡げます。

企業・行政・中央官庁へのアプローチも
継続していきます。今こそEMによる国つ
くりを行う時が来ています。U-netの
メンバーはそれぞれの地域で、「EMによ
る成功例」を数多く作ってきました。その
成果は必ず花を咲かすと確信がありま
す。善循環の輪がさらに大きくなり、成功
例が多くなり、EMが多くなる場面で活躍
できるよう、あと一歩、力を合わせて、壁



右から順番に、石黒和彦(南知多町長)、森下利久(愛知県議会議員)、山下治夫(美浜町長)、竹内啓二(阿久比町長)、
粉山芳輝(武豊町長)、比嘉教授(EM開発者)、田中佳(医療法人照臨会医師)、浜淵隆男(U-net委員長)、
吉澤文五郎(U-net副委員長)、安里勝之((株)EM研究機構代表取締役社長)、榊原武夫(武豊町教育長)、熊崎
巖(農事組合法人光輪会長)

U-netでは、会費を必要としない「善循環の輪」という登録
制度を設けています。ご登録
いただけると「善循環通信」と
いう情報を月に二回配信い
たします。ご登録を希望され
る方は、下記へお問い合わせ
ください。

U-net事務局

TEL : 03-5427-2348
FAX : 03-5427-5890
Eメール : info@unet.or.jp